



歯科医になって二十数年の月日が流れた。最初は大学の研修医、そして勤務医を経て開業へと、誰もが経験するのと同じ道を通って来たように思



う。大学の頃、カルテは治療内容を書くものだった。それが勤務医になって、保険請求のために書くようになった。ところがこれが大変なのである。当時は今のよう

う。大学の頃、カルテは治療内容を書くものだった。それが勤務医になって、保険請求のために書くようになった。ところがこれが大変なのである。当時は今のよう

便利になったとはいうけれど...

石原 正雄 (足立区)

発・普及の途上で、メーカーによりかなりの差があったため、導入は見送った。ただ、今思えば最初からレセコンを入れておけば良かったと思う。なぜなら手書きでは月末、

月初の三日間はほぼ徹夜だったからだ。レセプトの記載後、患者を分類し総括表を作成する。一度で数字が合えばいいが、合わない時は再度計算し直す。やっと終わったと思っても、すぐその翌月がやって来た。

開業して十ヶ月が過ぎた頃、その作業には限界を感じレセコン導入に踏み切った。正直感動だった。マウスとキー操作ですべてが進む。レセプト用紙も必要なく、ダイレクトに印字され、総括表

第7回「歯と健康」フォーラム 参加者が定員の300名に達しました



第7回「歯と健康」フォーラムのPRにご協力をいただき、ありがとうございます。会員の先生方のお力添えて、多くの都民の方や歯科医療関係者からお申し込みをいただきました。患者さん、診療所のスタッフ、ご家族、知人までお声がけをいただき、本当にありがとうございました。

この「歯と健康」フォーラムは、協会唯一の都民に向けたイベントです。少しでも多くの都民の方々にご参加いただき、「歯と健康」に関心を持っていただくことも、歯科医療改善の必要性を理解していただくために行っております。今後も、このような都民向けのイベントを開催いたします際には、ご協力をお願いします。

第7回「歯と健康」フォーラム実行委員長 森元主税

員景 会八

その4



山岳部で鍛えた健脚先生の結論は、「お年寄りの通院に配慮、通院回数を少なく...」  
熊川尚哉先生(中野区)

中野駅北口界隈。記憶をよきるのは「モールとブロードウェイ、居並ぶ商店、居酒屋群、その横を走る「ふれあいロード」の一角に、今紹介する熊川尚哉先生の診療所がある。

熊川先生は、歯科大学卒業後、医局員や研究員、勤務医を経て開業を決めた。ふと旧知の登山用品店を野に訪ねると、「もうすぐ店をたたむ

ことになった」とのこと。すると、「高校の山岳部時代にお世話になったこの場所を開業しよう」と決意し、二〇〇七年三月、八坪の室内にユニット二台、しかし選りすぐった設備で非常に使い勝手の良い、狭小診療所を開業した。ただし、「開業フロアは必ず階、お年寄りの通院を考えると、二階、三階へあがっていただくことは絶対無理」という先生が最優先にした条件に合った場所であることも確かだ。

フィリピンの無医村へ

歯科医療支援ボランティア参加

二〇〇五年に愛知万国博覧会にボランティア参加。その後、数奇な運命に呼び寄せられるようにしてフィリピンへのボランティア活動に力を入れている。

海外から日本へ誘致してはどうか  
最近の医療情勢について話題が広がると、日本の医療フリーダムに言及し、「仮に、全額が保険点数上の十割負担であっても、日本の歯科治療費は欧米よりどのほかが安い。飛行機代や歯科治療費、日本滞在費用を加えても、日本で歯科治療を受けたほうが、欧米よりも安いケースがかなりある」として、「日本の歯科医師がめりかなく治療技術に磨きをかけていけば、他国の歯科医師には絶対には負けない。新たな歯科医師の需要も生まれるかもしれない」。外国から歯科治療が必要な患者を誘導できるのではないか」と語った。



同行した歯科大生も、ライオンが欠乏し自動車も入れないことに加え、抜歯だけの歯科医療を前にして「かなりショックを受けた」と話す。ただ、このように、先生は微笑んで「体験者が増えることは良いこと。社会人の参加も歓迎必ず、素晴らしい糧になる。」

フィリピンの無医村で実際に使用する歯科医療器具。すべて、抜歯に必要なものばかり。抜歯以外の処置は行わない

太陽生命の「くみだて自由な保険」  
Best  
太陽生命保険株式会社 公法人部  
〒108-0075 東京都港区港南2-16-2太陽生命品川ビル  
http://www.taiyo-seimei.co.jp/